

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスびーす		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 1日		令和7年 10月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 10日		令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	屋外で体を動かして活動できるスペースがある。	天気の良い日にはお散歩や外での活動を取り入れ、鬼ごっこや遊具での遊び等、楽しみながら体を動かせるよう工夫している。	職員の定期的な設備点検に加え、遊具は外部業者に点検を依頼し、環境安全に努めている。
2	音楽療法とリトミックを取り入れて、心身の障がいの改善や生活の質の向上を目指していること。	音楽を使って身体を動かしたり、手遊び、ゲーム等、子ども達が楽しめるよう、工夫している。	様々なプログラムを取り入れ、子ども達が楽しみながら活動出来るようにしている。
3	多機能型施設になっており、生活介護事業所との交流の場がある。	高等部の希望者には、生活介護事業所での作業体験を行っている。	法人内の事業所全体でのイベントを企画し、交流の場を設けている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者全員に合った集団活動が難しい。	障がいの特性、その日の状態やそれぞれのリズムがあり、無理な参加はストレスになってしまうことがある。	特定の子に暴力的になってしまう子、執着してしまう子、子ども同士の相性等もあり、距離を取らざるを得ないことが多い。
2	園庭が川や田んぼに面しており、ボール遊びが出来ない。	園庭が高台にあり、ボールがフェンスを越えてしまうと危険なため。	ボール遊びをするときは、広い公園や運動が出来る施設で行うようにする。
3	保護者同士や地域の児童と交流する機会がない。	時間帯や、それぞれの障害の特性により、交流が難しい。	法人内の事業所全体でのイベントを通して、ご家族や兄弟、他事業所との交流の場を設けていく。